

# TANGO

## 丹後普及センターだより

第25号

(平成29年3月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波855  
京都府丹後広域振興局農林商工部

丹後農業改良普及センター

電話0772-62-4308

FAX0772-62-5894

丹後普及センター

検索



## 農業青年が集い、経営の考え方を学びました!

丹後地域の農業青年の経営力向上と相互協力関係を築くことを目的に、昨年10月18日、野田川ユースセンターにおいて、「農業経営スキルアップセミナー・若い農業者のつどい」を開催しました。農業青年23名と指導農業士3名が集った今回は、宮津市の(株)飯尾醸造 五代目当主 飯尾彰浩氏(写真左)を講師に迎え、こだわりのモノ作りや「大手ではない小さいからこそその生き残り術」等の経営に対する考え方を学ぶとともに、その後の意見交換会では、日頃の悩みや工夫していること等を本音で語り合い、参加者の満足度の高い催しとなりました。

メール会員  
募集中!!

## おいしいお米づくりのヒントを メールでお知らせします!

丹後米改良協会では、おいしい丹後米づくりのための管理のポイントや病害虫の発生・気象災害対策情報を、メールでお知らせしています。(無料。通信料は別途必要)

- ①メールの利用可能な、携帯電話やパソコンを用意します。
- ②次のあて先に、空メールを送ってください(右のQRコードでも可)  
[tangomai@mamail.jp](mailto:tangomai@mamail.jp)
- ③「ご入会ありがとうございました」の返信メールが届いたら、登録成功です。



※登録方法がわからない場合は、丹後農業改良普及センターか、最寄りJAに相談してください。

～知ろう、守ろう、考えよう、みんなの人権～

# 小さな経営革新チャレンジ支援事業に 取り組みました!

新たな取組にチャレンジする方を支援するため、京都府では、平成27年度から「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を開始し、丹後地域では、平成27年度に13件、平成28年度に7件の農家が取り組まれました。今回は、その中から若手2名の取組内容をご紹介します。



## 松宮 靖 (京丹後市久美浜町)

松宮さんは、ハウスではキュウリ、ホウレンソウ、ネギ、露地ではハクサイ、キャベツ、レタスなどを栽培されています。平成27年度の「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、キュウリの半促成栽培で新しい品種の試作に取り組まれました。

これまでの品種は収穫時期が集中し、収穫後半はスタミナが持たず、秀品率も約50%であったため、労働時間の集中や収穫後半の低収量、秀品率の低さ等を、問題として感じておられました。

今回試作した品種は、若干初期収量は少なかったものの、コンスタントに収穫でき、かつ、収穫期間が長く秀品率も約70%と高かったことから、松宮さんの経営にとってプラスとなることが分かりました。また、抑制栽培でも新しい品種を採用し、「計画的に良い商品を連続出荷できることがこの品種の魅力」と松宮さんが話されるように、忙しいときは毎日1t以上のキュウリを収穫することができました。

現在は、「市場価格にとらわれない安定した経営」を目標に、就農6年目にして2名の若い男性従業員を雇用され、経営規模の拡大を進めておられます。



## 家城友彦 (京丹後市久美浜町)

家城さんは、ナシ、モモ、ブドウの果樹経営に取り組まれています。平成27年度の事業を活用して、モモの安定生産と販売期間延長を図るため、晩生品種の苗木と、(ヤガによる果実への被害を防ぐことを目的に)黄色蛍光灯を導入されました。

黄色蛍光灯を設置して初めての栽培となった平成28年度作では、ヤガの被害もほとんどなく、これまでよりモモの商品果率をアップさせることができました。モモの安定生産が可能になったことから、今後はモモの販路拡大も視野に頑張っていきたいと語っておられました。

## 丹後のいきもの



### アカメガシワクダアザミウマ *Haplothrips brevitubus*

野菜を栽培されている方は、アザミウマという害虫を聞かれたことがあるかと思いますが、体長約 1.5mm のこの昆虫もアザミウマの仲間です。ただし、この昆虫は植物の葉や実を食べないで、コナジラミやアザミウマといった害虫を食べてくれる天敵昆虫です。四国や九州のピーマンやナスの産地では、この昆虫を利用したアザミウマ防除の取組が始まっています。成虫(写真左)は真っ黒ですが、幼虫(写真右下)は赤とクリームのきれいな縞々模様です。

～築いていこう! 男女共同参画～

## （管内の法人組織を紹介します）

当センターでは、京力農場プランを作成し集落型農業法人を設立して、地域農業を将来にわたって持続させようという取組を行っている法人を支援しています。今回は、支援対象の一法人である「京丹後森本アグリ株式会社」（京丹後市大宮町）の概要を紹介します。

### 京丹後森本アグリ株式会社

■設立：平成22年6月

■役員：5名

■平成28年度の経営内容（数値は概ね）

水稲32ha、小ギク30a、業務用キャベツ50a、  
業務用たまねぎ40aほか



#### Q. 法人化のきっかけは？

「先輩から受け継いだ大切な農地を守ろう!」といった思いから大区画ほ場整備を行いました。現在は「その農地を更に発展させ次世代へ!」をモットーに農業をしています。

#### Q. 法人化に向けた具体的な活動は？

平成18年度から先進地調査や法人化に向けた営農計画の作成など行いました。特に地域の皆さんへの説明は大変でした。法人を立ち上げ、どんな農業がしたいのか、営農計画を片手に毎晩地域を回り、説明しました。

#### Q. 法人化して良かったこと

地域の方々から「農作業や農地の心配事が減った、ありがとう。」といった声を多く聞くことができました。また、退職した人たちの働く場としても活用してもらっており、地域に貢献できているのではないかなと思っています。

#### Q. これからの構想は？

メインである水稲の販売先を拡大していきたいです。そのためにも、たくさんの人に愛される美味しいお米を積極的に提供していきたいです。また、オーナー制度を利用した都市農村交流や地域の女性グループとの交流で、地域を盛り上げていけたらなとも思っています。

#### Q. 法人化を考えている集落に一言

法人化する目的は何かを明確にし、取り組んでください。

平成28年度「京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良組織表彰」

環境保全型農業部門にて、京都府知事賞を受賞されました!

おめでとうございます。

～環境にやさしい農業は土づくりから～

## 新しい農業士さん

農業士は京都府知事が認定し、地域農業の活性化や後継者育成などに御尽力いただきます。よろしくをお願いします。

### 指導農業士

- 棚橋 伸二 (宮津市)  
田中 正彦 (京丹後市峰山町)  
城下 和彦 (京丹後市網野町)  
小谷 安博 (与謝野町)

## 退任される農業士さん

地域や若い担い手のリーダーとして御活躍いただき、大変お世話になりました。今後も、地域農業の発展に御協力いただきますようお願いします。

### 女性農業士

- 能勢 良子 (京丹後市久美浜町)

### 青年農業士

- 城下 和彦 (京丹後市網野町)  
岡崎 浩和 (京丹後市丹後町)  
野村 拓生 (京丹後市久美浜町)



## 「丹後の鳥獣」

# 野生動物はこんなところを狙っています!

野生動物による農作物の被害を防ぐために、地域ぐるみで防除柵の設置が進んでいます。しかし、設置された防除柵の効果を持続させるためには、柵の管理が重要です。

農林センター、振興局、普及センターでは、防除柵の防除効果維持を目的に、野生動物が侵入しやすい箇所の調査を実施しています。調査はまだ途中ですが、これまでの調査では、水路、扉、傾斜そばに設置した防除柵等からの侵入跡が多い傾向があります。



傾斜下

傾斜上  
(動物側)



傾斜際は、潜り込みやすい?



柵でふさいでいない水路



防除柵の扉は、獣も利用?

写真は、今回の調査で発見した侵入跡の事例です。このような場所では、柵の設置を避けたり、設置に工夫を凝らすなど侵入防止対策の強化を講じることが必要です。